



広島県 呉遊技業防犯協力会
「呉市の暴力排除、環境浄化活動による
明るい地域社会の実現」事業



呉遊技業防犯協力会
会長
日野廣徳さん

安心・安全なまちづくりを
物心両面で支える防犯協力会

安心・安全なまちづくりの中核を担う

広島県遊技業協同組合(以下、広島県遊協)を構成する支部組合のひとつ、呉遊技業防犯協力会(以下、防犯協力会)では、呉市を安全・安心な街にするために、呉市、呉警察署、呉市暴力監視連合会、呉市防犯連合会、呉警察署管内地域安全協力会などと連携して、地域の環境浄化、交通事故防止、犯罪抑止、暴力追放、青少年の健全育成などの活動に継続的、積極的に取り組むと共に、地域の中核的な存在として、人的支援、資金・物品援助の両面にわたって貢献している。

なかでも、1972年に結成された呉市暴力監視連合会、1996年に結成された呉警察署管内地域安全協力会において、その結成当初から、防犯協力会は物心両面にわたって両組織の中核として活動しており、地域社会からの評価は極めて高い。現在、日野廣徳会長は、暴力監視連合会の会長を務めている。

呉市暴力監視連合会では、昨年6月、呉市民会館で「結成40周年記念大会」を開催したが、この大会に防犯協力会からは日野会長以下、約30名が参加した。連合会会長でもある日野会長は冒頭で、「過去、呉市は暴力団抗争が激化して、暴力の街というイメージがあった。この汚名を払拭するために、風俗営業・飲食業などが結束して呉市暴力監視連合会を結成し、暴力団事務所移転などの暴力団追放運動に取り組み、大きな成果をあげた。今後とも暴力のない、明るく住みよい呉市を目指して活動します」とあいさつを行った。この大会には、広島県暴力監視追放防犯連合会会長を務める広島県遊協の池田仁志理事長も来賓として招かれ、激励のあいさつを行った。

また、11月には広島県民文化センターで行われた「広島県暴力監視追放防犯連合会結成40周年記念大会」にも参加。この大会で日野会長が会長を務める呉市暴力監視連合会は長きにわたる暴力団追放運動が評価され、他6団体と共に表彰された。



「結成40周年記念大会」の様子



「年末警戒パトロール」に参加した組合関係者

防犯のためのさまざまなイベントに積極参加

犯罪防止や青少年の健全育成に関する活動としては、7月から8月の4週にわたって呉市れんが通り商店街で開催される「土曜夜市」の防犯パトロールに、日野会長以下9名が参加した。この夜市は多くの露店が並び、イベントも盛りだくさんで、呉市の子どもたちにとっては待ちに待った夏の風物詩となっている。パトロールの出発式では、日野会長から、「夏休みに入り、子どもの夜遊び、非行などが増加する恐れがあります。子どもの非行を防止し、暴力を許さず、市民が安心して楽しめる土曜夜市にしましょう」とあいさつがあった。

このほかにも、防犯協力会として、10月7日に行われた呉警察署主催の「なくそう犯罪呉フェスタ」、12月1日に行われた呉市・呉警察署主催の「2012年末総ぐるみ3アプローチ作戦決起大会」、12月15日に行われた呉警察署主催の「年末警戒パトロール」などに参加し、地域安全、犯罪防止、暴力追放、交通事故防止などの活動や広報に努めた。

地道な活動ではあるが、こうした一歩一歩の積み重ねが、安心・安全なまちづくりにとっては欠かせないものであり、その中核を担っている防犯協力会は、地域にとって欠かせない存在となっている。これらの活動の様子は、そ

の都度、呉市の広報紙や地元の新聞・テレビなどで報道され、防犯協力会に対する呉市民の認知や期待が一層高まっている。



行政と関係機関など300名が参加した「2012年末総ぐるみ3アプローチ作戦決起大会」